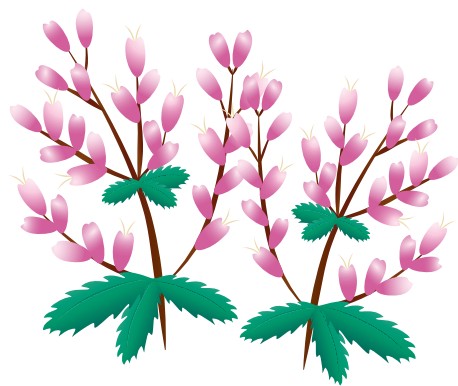


はまちゃん新聞 10月

空が澄みわたり、さわやかな季節となりました。10月の祝日といえば「体育の日」ではなく「スポーツの日」ですね。2020年に名称が変更されましたが、東京オリンピック開催のため2020年と2021年は特例的に7月に祝日を移動したので、10月第2月曜日が「スポーツの日」になるのは今年が初めてになります。10月は高気圧に覆われて晴れる日が多いので、これを機に新しいスポーツを始めたり、健康を考えるきっかけになると良いですね（´▽`*）

10月のイベント・行事

- 10/1 (土) 衣替え
- 10/2 (日) 豆腐の日
- 10/8 (土) 寒露、十三夜
- 10/10 (月) スポーツの日
- 10/14 (金) 鉄道の日
- 10/17 (月) 神嘗祭
- 10/23 (日) 霜降
- 10/31 (月) ハロウィン



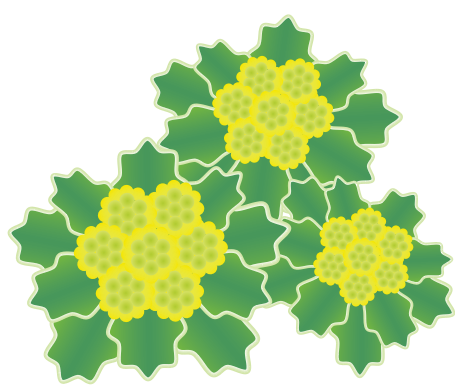
フジバカマ（藤袴）

花言葉・・・あの日を思い出す・躊躇
由来・・・万葉の昔から日本人に親しまれ、古く中国から渡来した帰化植物と考えられていましたが、日本在来のものであるという説もあるようです。日当たりの良いやや湿った河原の堤防や草地に自生していましたが、川岸の護岸工事などの影響で自生種が激減し環境省では準絶滅危惧種に指定されています。秋の七草の一つに数えられ花の色が藤色を帯び、花卉の形が袴のように見えることから「藤袴」の名前が生まれたと言われています。そのままではあまり香りませんが、茎や葉を乾燥させると桜餅に似た香りがするそう。



ダリア（天竺牡丹）

花言葉・・・華麗・優雅・気品
由来・・・栽培の歴史は古く、15世紀頃のアステカ帝国で神聖な花として栽培されていたといわれています。その後、メキシコからスペインにダリアの種が渡って以来、品種改良が行われ多種多様な花色、形のダリアが作られています。花の直径が30センチ以上の超巨大輪から3センチ以下の極小輪まで様々です。花の形も豊富で21種の形があるそう。花色もバラやチューリップに並び多いです。日本には江戸時代にオランダから長崎に持ち込まれたのが最初で、外国の珍しい牡丹に似た花から「天竺牡丹」と呼ばれました。



イソギク（磯菊）

花言葉・・・感謝・清楚な美しさ
由来・・・日本の固有種で本州の太平洋沿岸地方に自生しています。名前は「磯に咲く菊」というところ由来し、海岸の崖など厳しい環境で生育する海浜植物です。崖に生える時はこんもりとした株になり、平地の土に植えるとカーペット状に横へ広がって育ちます。花には俗に言う花びらがありませんがつぼみのような花が束になって咲く様子は黄金色の金平糖みたいです。この小さな花は、江戸後期に生まれた菊細工の菊人形の衣装によく使われています。菊人形といえば、日本三大菊人形の「たけふ菊人形」が有名です。

10月のレシピ

「手羽先と大根のガーリック麺つゆポン酢煮」

【材料…2人分】

- ・手羽先 8本（約500g）
- ・大根 300g（正味）
- ・ごま油 大さじ1
- ・きざみ万能ねぎ 適量

- A
- ・水 300ml
 - ・めんつゆ（2倍濃縮）50ml
 - ・ポン酢 大さじ1
 - ・おろしニンニク 小さじ1

【作り方】

- ① 大根の皮を剥いて乱切りにする。
- ② フライパンにごま油をひき強火にかけ、大根と手羽先を入れて表面に焦げ目をつける。
- ③ ②にAを加えてふたをし、中火で大根に火が通るまで加熱する。
- ④ ③を器に盛り付けてきざみ万能ねぎをちらしたら出来上がり。



四万十にお住まいの「みやちゃん」さんの素敵な料理ブログからレシピをご紹介します
四万十住人の簡単料理ブログ
<http://shimanto-miyachan.blog.jp/>

ニンニクの香りで食欲アップ♪おつまみにもなる一品です♪



Instagram やってます。

\Follow Me!/\

@hamahome2021



濱田工務店の facebook



今月は
お休み

社長が多忙のため、今月号の「濱田工務店の facebook」はお休みします<(_)>ということで、今月号は濱田工務店のプチ情報をお届けします。濱田工務店には植木や鉢植えが沢山あります。最近は駐車場脇に植えてあるキンモクセイが咲いて、甘い良い香りが漂っています。会社内に置いてある観葉植物はどれもすくすく育ち、中には展示会で配っていた小さな苗が、私の身長近くまで大きく成長した物もあります。この間、鉢植えの土を入れ替えてもらったら、葉が落ちて枯れたのかと思っていた子がとっても元気になりました。定期的に土を入れ替えると元気に育つそうですよ。沢山の緑のおかげで、新鮮な空気を吸ってエネルギーをチャージできそうです～♪



なるべく毎日更新中！ <http://hama-home.jp/wp/>

2022年10月 建築吉日カレンダー

日	月	火	水	木	金	土
						1 友引 衣替え 建築吉日 十三夜（みづ）
2 先負 豆腐 建築吉日 の日（たいら）	3 仏滅 建築吉日 （さだん）	4 大安	5 赤口	6 先勝	7 友引 建築吉日 （なる）	8 先負 寒露
9 仏滅	10 大安 スポーツの日 建築吉日 （ひらく）	11 赤口	12 先勝	13 友引	14 先負 鉄道 建築吉日 の日（みづ）	15 仏滅 建築吉日 （たいら）
16 大安 建築吉日 （さだん）	17 赤口 神嘗祭	18 先勝	19 友引	20 先負	21 仏滅	22 大安 建築吉日 （ひらく）
23 赤口 霜降	24 先勝 建築吉日 （たつ）	25 仏滅	26 大安 建築吉日 （みづ）	27 赤口 建築吉日 （たいら）	28 先勝	29 友引
30 先負	31 仏滅 ハロウィン					

※祝日は法律の改正により変更になる場合があります。

『たつ』 開店・移転、柱立て、棟上げ、新規事の開始など、すべてに大吉。
『たいら』 地固め、柱立て、祝い事、すべて円満。
『さだん』 建築・移転、開店、新規事の開始など、すべて吉。
『なる』 新規事の開始は吉。
『ひらく』 建築・移転、開店、すべて吉。

地鎮祭や上棟式、お引越しのスケジュール立てに参考までに活用下さい。





①建て方は、1階の柱をたてるところから始まります。



②1階の柱の上に梁を固定して2階の床組みをします。



③2階部分に構造用合板が敷かれ、床が出来ました。



④2階の柱をたて、桁や梁で柱と柱をしっかりと繋げます。



⑥屋根の下地になる野地板を設置して、防水シートを敷いたら建て方終了です。

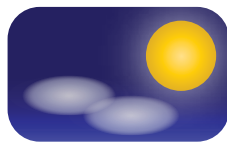
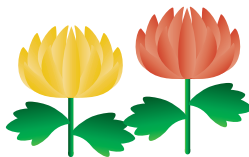


⑤小屋組み（屋根の骨組み）が出来て壁に木質パネル（断熱材が一体になったパネル）を設置していきます。

9月23日（金・祝）に金沢市で建て方を行いました。台風が過ぎた後で天候が心配されましたが、風もなく小雨だったので良かったです。建て方を見るのは今回が初めてだったのですが、どんどん柱が建てられてあっという間に一階、二階と進んでいきました。職人さん達は梁の上を上手に歩いて、バランスを崩すことなく大きな木槌を振っていました。クレーンで材料を吊り上げるタイミングも大工さんとの連携がとれていて、荷を下ろす時に着地点がクレーンの操作場所から見えていなくても、大工さんの手の指示動作でちゃんと置く事ができます。無駄な動きが全くなくてとってもスムーズです。さすがですね!!! お施主様も作業が早くて驚いていました。お施主様からの美味しいお弁当のおかげもあり、無事に建て方を終えることができました。帰る頃には雨も上がり、夕日に照らされたお家を感慨深く眺めておられたお施主様が印象的でした。一日で建物が目に見える形になり、お家を建てる実感が湧いたのではないのでしょうか。これからサッシが入って外壁が張られてと工程が進み、出来上がっていく様子を楽しんでもらえたらいいなと思います。とっても勉強になった一日でした(‘◇’)ゞ

寒露

10月8日頃



寒露（かんろ）とは、夜が長くなり露が冷たく感じられる頃。朝晩の冷え込みはきつくなりますが、空気が澄んだ秋晴れの過ごしやすい日が多くなり、夜空には美しく輝く月が見られます。

鴻雁来 こうがんきたる 10/8～10/12頃

ツバメと入れ違いに雁が北から渡ってくる頃。雁は日本で冬を過ごし、暖かい春になるとシベリアの方へ帰っていきます。毎年、初めに訪れる雁を「初雁（はつかり）」と呼びます。

菊花開 きくのはなひらく 10/13～10/17頃

菊の花が咲く頃。各地で菊の展示や菊祭り、品評会が行われます。菊には不老長寿の薬効があるとされ、旧暦9月9日の重陽の節句に菊の花を酒に浮かべた菊花酒を飲む風習があります。

蟋蟀在戸 きりぎりすとにあり 10/18～10/22頃

蟋蟀が戸口で鳴く頃。この頃の蟋蟀は夏から冬にかけて見られ鈴のような音色を響かせるツツレサセコオロギだと言われています。ギーツチョンと機織りのように鳴く蟋蟀ではありません。

霜降

10月23日頃



霜降（そうこう）とは、朝晩の冷え込みが更に増し、北国や里山では霜が降り始める頃。露が霜に変わり、だんだんと冬が近づいてきます。

霜始降 しもはじめてふる 10/23～10/27頃

氷の結晶である霜がはじめて降りる頃。昔は、朝外を見た時に庭や道沿いが霜で真っ白になっていたことから雨や雪の様に空から降ってくると思われていたので、霜は降るといいます。

霎時施 こさめときどきふる 10/28～11/1頃

ぱらぱらと通り雨のように雨が降り始める頃。雨が降ったかと思えばすぐに青空が顔を出します。初時雨は、人々や動物たちが冬支度をはじめる合図だといわれています。

楓薦黄 もみじつたきばむ 11/2～11/6頃

もみじや薦が色づいてくる頃。葉が赤色に変わることを「紅葉」と呼び、銀杏のように黄色に変わることを「黄葉」と呼びます。又、秋の山が紅葉することを「山粧う（よそおう）」といいます。

赤い羽根共同募金

赤い羽根共同募金は毎年10月1日～12月31日に行われます。また、毎年12月には共同募金運動の一環として歳末たすけあい募金も行われています。駅やスーパー、学校などで募金を呼びかけているのを目にすると年末だなと感じていたので、10月から始まっていたのは知りませんでした。赤い羽根共同募金は、民間の運動として昭和22年に市民が主体の取り組みとして「国民たすけあい運動」という名前でスタートしました。翌年から寄付をすると赤い羽根を渡すようになり、「赤い羽根共同募金」と呼ばれるようになりました。なぜ赤い羽根だったかという、アメリカで「勇氣」と「良い行い」の象徴とされていたことが由来と言われています。集められた募金は、「社会福祉法（旧・社会福祉事業法）」という法律をもとに中央共同募金会が主催し、募金の約70％は募金された市区町村で高齢者福祉施設や学童保育への助成、地域防犯活動、障害者への活動支援など用途は様々ですが、総括すると地域福祉活動のために使われています。自治体ごとにHPなどで使い道を公表していますので確認してみるとよいですね。残りの約30％は市区町村を超えた広域的な課題を解決するために募金された各都道府県で使われます。羽根募金は他にもあり、「緑の羽根募金」は森林設備の推進、植林活動を目的とした募金で、「黄色い羽根募金」は石川県の腎友会が主催で行われている募金で、臓器移植に対する理解と関心を高め、臓器移植の推進を目的とする募金です。私がよく行くお店のレジには地域猫活動の募金箱が置いてあり、少ない金額ですがおつりから募金しています。募金は身近に参加できるボランティア活動の一つです。色んな活動の募金箱があるのでお会計の際に気にしてみるとよいかもしれませんね。

住宅建築 まめ知識

今回のテーマは

木工事①

次回のテーマは…木工事②

木工事とは、木材を加工して建物の骨組みや木製の設備を取り付ける工事のことです。細かく分けると**構造工事**・**下地工事**・**造作工事**の3つに分類されます。木工事として扱われる作業は、基本的に大工さんが行います。基礎工事が終わって土台を敷くところから木工事の始まりです。建方ではたくさんの職人さん達で作業しますが、その後は基本的に大工さんが1人で木工事を担当します。屋根や外壁の下地などの外部木工事、天井や壁の下地、階段、建具の枠、内装の間仕切り、フローリング張りなど様々な工程があり、長い期間の作業になります。下地などは最終的に見えなくなる部分なのですが、仕上がりに影響するので手の抜けない大事な工程です。実は見えない所が大工さんの腕の見せどころだったりするのかもしれませんね。

構造工事：柱や屋根など構造上重要となる部分の工事

下地工事：天井、壁、床などの骨組みを作る工事

造作工事：断熱材、階段、窓の額縁、ドア枠、配管などの工事



編集後記



先月の後半から台風がいくつも発生しましたね。台風14号の進路が石川県を通過するコースだったのでとても心配しました(^^;) 皆さんは大丈夫でしたか？私は家のどんぐりの木の枝が伸び放題で慌てて切りました。風が吹き始めていたので切った枝が転がり集めるのに手間取りました。転ばなくて良かった～。何でも慌ててするとケガのもとになりますね・・・とっても反省㏽ 早め早めの行動が大事ですね!!

